

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p style="text-align: center;">つながり(支えあい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域生活支援ネットワーク活動定例会への参加、 ・サロン・小ネット交流会の開催 ・サロンへの参加依頼 ・小ネット定例会への参加依頼  <p>小地域生活支援ネットワーク活動定例会への参加依頼</p> 	<p>●脇町地区「サロン・小ネット交流会」の開催 令和元年11月20日(水) 穴吹農村環境改善センター 参加者 61名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講話「美馬市の今とこれから、認知症予防について」 美馬市役所地域包括支援センター 管理者・保健師 ○脳トレ体操 美馬市社会福祉協議会 理学療法士 ○「地域の支え合い、見守り活動について」 美馬市社会福祉協議会 地域福祉課課長 ○別所浜東小ネット活動報告 ○意見交換会、発表  <p>●井口小ネット定例会参加 実行委員6名 小ネット19名 令和元年5月16日(木) 井口集会所 地域の見守り活動状況の情報交換の様子を見学し、実行委員との意見交換を行った。</p> 	<p>交流会では、美馬市地域包括支援センターと美馬市社協から、左記内容で講話を行い、その後、各テーブルで意見交換会と発表を行った。 参加者もサロンから小ネット、福祉委員(自治会長)、民生委員・児童委員と多岐にわたり、これまで顔を合わせていなかったメンバーとの顔あわせに加え、それぞれの活動を知る機会となった。 どの地域も、担い手がいない、参加者の減少等の課題も多く聞かれた。</p> <p style="color: green;">地域の人と人との結びつきの希薄化を少しでも解消し、住み慣れた地域で安心して暮らしている地域づくりを目指していく必要がある。 また、課題解決に向けた取り組みを引き続き協議できる場としていく。</p>  <p>小地域生活支援ネットワーク活動の見守りから生活支援までの実情を知るために、各地域の小ネット活動定例会への参加を勧めている。 地域の見守り活動の中では、訪問されること自体を嫌がるケースもあり、見守り活動のしにくさを目の当たりにした。</p> <p style="color: green;">小地域生活支援ネットワーク活動等の形式化された中での活動では、気に掛けあう関係とは言えず、関係性の難しさを痛感している。 しかし、高齢社会を迎え支え合う地域づくりにおいては、必要不可欠な活動であり、どう推進・支援していくかが課題でもある。</p>
<p>(防災・防犯)(つながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードの見直し   <ul style="list-style-type: none"> ・防災研修 「第3次地域福祉活動計画実行委員会防災研修」 	<p>●あんしんカードの改訂版作成と配布。 安心カードについて7サロン151名に聞き取り調査実施。 聞き取り調査を元に、あんしんカードの内容を繰り返し検討し左記の内容に至った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和元年12月広報と一緒に あんしんカードと解説チラシを脇町全戸配布。 ●令和元年12月24日(火) 脇町地区民生委員児童委員定例会にて、あんしんカードの趣旨と活用の依頼。 ●令和2年1月17日(金)野村・野村東小ネットで趣旨、記入説明。 ●令和2年1月23日(木)井口サロンで趣旨、記入説明、記入実施。 ●令和2年2月5日(水)小星サロンで趣旨、記入説明、記入実施。 ●令和2年2月12日(水)拝西サロンで趣旨、記入説明。 <p>●「土砂災害防止に関する講習会」 「池田ダム 洪水時のダム操作について」 令和元年11月27日(水) ミライズ 委員5名参加</p> 	<p>救急者を呼ぶ「もしも…」の時や、災害時の安全と安心を守る取り組みとして、あんしんカード改訂版と解説チラシを作成し、全戸配布を実施した。</p> <p style="color: red;">高齢者化や単身世帯が増加する地域で、あんしんカードを使うことで、支え合い(つながり)への意識づけができるのではと期待もしている。 今後も、防災・防犯、つながり(支え合い)の共通項目として、あんしんカードを周知・活用していく。</p> <p>美馬市(脇町)はこれまで災害被害も少なく、防災意識の低さが懸念されている。 防災研修等で研鑽を積みながら、自主防災活動の活性化と防災・防犯意識を高めるべく、活動内容を検討していく必要がある。</p>

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>(環境)</p> <p>・ペットボトルキャップ回収運動</p>  <p>キャップ提供者様へのお願い エコキャップ運動のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 現在提供しているキャップの中には一部エコキャップ以外の物が混入している場合がございます。 ご提供いただいている皆様には、以下の点にご配慮いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。 ①宝飾品(アクセサリー)やピン、傘は入れずに回収ください。②ペットボトル以外のキャップは入れずに回収ください。</p> <p>③シールはできるだけ取ってご提供ください。④汚れたキャップはできるだけ洗い、乾燥させてからご提供ください。</p> <p>・「エシカル」について</p>	<p>◇エコ活動・環境保護が広がっている。</p> <p>●エコキャップ提供者に、キャップ以外の混入等がないようポスターにて分別の徹底をお願いした。</p> <p>●令和2年12月13日(金)集まったエコキャップの選別</p> <p>●令和2年12月13日(金)エコキャップの換金 390kg</p>  <p>◇エシカル「倫理的＝環境保全や社会貢献」を学ぶ</p> <p>●令和元年6月20日(木)「エシカルについて」 エシカル活動をしている実行委員から、「エシカル」について学んでいる段階である。</p>	<p>ペットボトルキャップ回収運動新ポスターとキャップの分別へのお願いポスターを同時配布する事で、周知を図ってきた。 各家庭から各団体・小中学校等から、キャップが集まっている。 キャップ以外の混入物は以前に比べると減少したが、換金前には実行委員によるキャップの分別作業が必要な状況である。</p>   <p>平成31年4月から令和2年2月末で エコキャップ 390 kg が、集まった。</p> <p>エコキャップ活動を継続しながら、環境保全さらには社会貢献へと、意識向上に繋げるべく、すべきこと・できることを検討していく必要がある。</p>
<p>(けんこう)</p> <p>・いきいき百歳体操体験</p>  <p>・「ウォーキング大会」とノルディックウォークの啓発</p> 	<p>●いきいき百歳体操体験(介護予防サポーターフォローアップ研修) 令和元年6月10日(月) 穴吹農村環境改善センター 参加者 44名 内実行委員5名</p>  <p>●早春 ウォーキング大会 令和2年2月24日(月) 参加者名123名(総勢139名) ○ノルディックウォーキングの無料体験 学生・看護師・トイレ提供事業所などボランティアの方に支えられています。</p> 	<p>介護予防サポーターフォローアップ研修、いきいき百歳体操を実際に体験すると共に、生き生き百歳体操の効果等の講話を受講した。</p> <p>美馬市内19カ所の内、脇町地区では11カ所のいきいき百歳体操の通いの場が立ち上がっている。 健康増進に加え、交流・活動の幅が広がり、気にかかけあう地域づくりの1つになることを期待し、実行委員会としても推進していく。</p> <p>天候にも恵まれ、0歳児から80歳代と幅広い年齢層が家族で参加し、無理のない範囲でのウォーキング大会(ノルディックウォーキング体験)となった。</p>  <p>恒例のウォーキング大会が、地域交流の場(機会)で、世代を超えて楽しめるイベントになるつつある。 健康習慣を推進し、健康寿命を延ばし、元気な脇町を目指していく。</p>
<p>(その他)</p> <p>・第2層協議体の定例会から</p>	<p>●脇町のスーパー・商店・コンビニマップに着手</p> <p>脇町のスーパー・商店・コンビニマップの作成と、商店や移動販売車の配達可能地域を地図上に明記、見える化を図ることで脇町の実情把握を助めていく。</p>	<p>第2層協議体定例会の中で、買い物に困っている方がいるとの話から、脇町内の資源調査を始めている。</p> <p>脇町内のコンビニ、商店の閉鎖等があり、買い物難民がいる現状を見える化することで、今後の美馬市を考えて行く機会とする。</p>